

事業報告書

2015年6月1日から2016年5月31日まで

一般財団法人教育支援グローバル基金

1. 主要な事業の成果

一般財団法人教育支援グローバル基金は、2015年6月から2016年5月に、日本全国の高校生、大学生を対象としたリーダー育成事業「ビヨンドトゥモロー」を開催した。ビヨンドトゥモローの中でも、東北（岩手県・宮城県・福島県）の学生を対象とした事業を「東北事業」と呼び、それ以外の日本全国の学生を対象とした事業を「ジャパン事業」と呼び、財源を分けて管理した。

(1) 奨学金事業（2015年度終了）

- a. **大学スカラシップ・プログラム／東北未来フェローズプログラム**：東日本大震災という困難を経験した若者こそ、今後、世界や日本、そして東北復興のために行動するリーダーになる資質を有しているというミッションの下、進学のための奨学金（返済不要）を給付した。本プログラムの新規募集は2015年度は行わず、2015年度に本プログラムに在籍している学生たちへの奨学金給付をもって本プログラムは終了した。
- b. **高校留学プログラム**：東日本大震災を乗り越えて、グローバルな視野を持ち国内外で活躍するリーダーになることを志す高校在学者及び高校卒業者に、海外のボーディングスクール（全寮制学校）への留学機会を提供した。ただし、高校留学プログラムの新規募集は既に停止しており、2015年6月に卒業した学生を最後に、本プログラムは終了した。

(2) フェローシップ事業（2015年度新規開始）

ジャパン未来フェローズプログラム：上記（1）の奨学金事業の終了を受け、新たに「ジャパン未来フェローズプログラム」を本年度より開始した。日本全国の高校生・大学生を対象に、年間4回、国内外で開催されるリーダーシップ・モジュールの参加を通して参加学生の人間的成長を促すことを目的とし、参加に係る諸経費の大部分を主催者が奨学事業として負担するものである。日本全国の学生からビヨンドトゥモローの趣旨に最も合致すると考えられる学生を選抜すべく、2015年12月に募集を開始、2016年1月に選考を行い、224名の応募から選抜された34名の学生が参加する2016年4月からの1年間のプログラムとして開催した。

(3) リーダーシッププログラム事業

a. **夏季グローバル研修 米国サマープログラム2015 ～村瀬二郎記念奨学事業～ 2015年8月（米国・11日間） テーマ「多様性」**

本プログラムでは、東北出身で、東日本大震災という困難を乗り越え、広く世界に活躍するリーダーとなる志を持つ学生8名がニューヨーク及びボストンを訪問し、米国の歴史や文化、社会について学んだ。また、ボストンやニューヨークで活躍するリーダーたちとの交流を通し、東北の今を米国の人々に伝えるアンバサダーとしての役割も果たすことができた。出発前に東京で開催した事前研修においては、総理公邸を訪問し、出発前の決意表明を行う機会を得た他、ボストンでは、ハーバード大学を訪問したり、マサチューセッツ州立大学ボストン校との共同プログラムを行った。ニューヨークでは9.11のテロの犠牲者の家族や友人たちとの交流や、日本クラブでの閉会式を行った。本プログラムは、日米両国の架け橋として活躍された故村瀬二郎氏のご遺志を継ぎ、日米交流の担い手となる若者がアメリカの空気に触れ、多くのアメリカ人に会い、米国社会について学ぶことを目的とした「村瀬二郎記念奨学事業」として開催した。

b. 夏季グローバル研修 アジアサマープログラム 2015 2015年8月（フィリピン・9日間）

テーマ「～アジアにおける防災のための、若者による行動へのパートナーシップ～」

本プログラムは、日本・ネパール・フィリピンの若者が、フィリピンを訪れ、防災について考えることを目的として開催された。3か国でそれぞれに自然災害を体験した若者が、2013年11月の台風ヨランダが直撃したレイテ島の被災地域を訪問し、防災に関する現地のニーズについて考え、防災に関する施策について発信。また、参加者たちは、アジア地域における社会経済的な基盤の強化を含む、アジアの将来の防災における若者参画について提言を作成し、プログラム終盤にゲストの前で発表を行った。自然災害による被害規模の大きいアジア地域において、災害を体験した者同士が当事者として連携し、アジア地域における若者の連携プラットフォームの構築を視野に、災害リスク管理のための提言を作成した。

c. 東北未来リーダーズサミット 2015・ジャパン未来リーダーズサミット 2015 2015年11月（東京・3日間） テーマ「2020年の日本の姿」

東日本大震災により困難な状況を経験しながらも、社会のために役に立つ人材となることを志す、東北被災地出身の未来のリーダー候補となる大学生・高校生を対象とした「東北未来リーダーズサミット 2015」及び、日本全国から、それぞれの故郷における課題解決に関心を持ち、将来、自分の故郷の未来を担う人材となることを志す大学生・高校生を対象とした「ジャパン未来リーダーズサミット 2015」を同時開催。「体験共有」「専門家インタビュー」「ディスカッション」「提言作成」など様々なモジュールを通じて、幅広い領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、2020年に実現したい日本の姿について提言をまとめ、最終日の閉会式で発表した。閉会式には、竹中平蔵様（慶應義塾大学教授）にゲストとして出席いただいた。

d. メモリアルディナー2016 2016年3月（東京）

東日本大震災を機に設立されたビヨンドトゥモローが日本全国を対象とした活動に移行することを正式発表し、また、大学スカラシッププログラム参加者のプログラム修了に際する門出を祝う場として開催。ビヨンドトゥモロー設立当初より共に事業を創ってきた大学スカラシッププログラム参加者の学生たちが、新たにビヨンドトゥモローを創っていくジャパン未来フェローズプログラム参加者にエールを贈る場ともなった。竹中平蔵様（慶應義塾大学教授）、羽生善治様（将棋棋士）、デーブスペクター様（放送プロデューサー）などにゲストとして出席いただいた。

e. ビヨンドトゥモロースプリングプログラム 2016 2016年3月（東京・4日間）

ジャパン未来フェローズプログラム参加者が一同に介し、ビヨンドトゥモロー参加者としてのミッションを考え、将来のビジョンを描き、これからの学生生活において何を達成すべきかを具体化。ディスカッションや各種アクティビティを行い、今後1年間を通して自分が取り組むべき「プロジェクト」の計画を策定し、発表した。また、最終日には屋外キャンプを開催し、これまでにビヨンドトゥモローの奨学金プログラムに参加した学生たちも参加し、過去の参加学生とこれからの参加学生が、共にビヨンドトゥモローという場のあり方について考える機会を提供した。プログラム期間中には、安倍昭恵首相夫人及び加藤勝信一億総活躍担当大臣にゲストとして出席いただいた。

2. 主要な事業の実施状況
(奨学金事業)

事業名		対象者	選抜方法	参加者 人数	給付内容	支出額（全額東北事業）	
						奨学金給付	奨学金運営
大学奨学金	大学スカラシッププログラム (2011年度入学者)	東日本大震災により被災し、岩手・宮城・福島 のいずれかの県に居住していた学生であり(震 災後、他の都道府県に転校した生徒も対象)、 2012年3月までに高等学校またはそれに準ず る学校を卒業し、2012年4月～2013年3月に 新たに大学・短大・各種学校に進学した者(震 災による被災度合いがより高い者は優先的に 配慮)。	2011年度に選抜さ れた学生を対象 に、2014年12月に 更新面接(書類・ 面接)を開催。	8名	学費(入学金・授 業料)、入学準備金 15万円、生活費月 額10万円を上限と し、他奨学金の受 給状況や被災状況 により調整。原則 として、2016年3 月までの支給。	420,000円 (前期未払い 計上されてい なかった支給 額)	537,931円
	東北未来フェ ローズプログラ ム(2012年・ 2013年度・2014 年度入学者)	東日本大震災により被災し、岩手・宮城・福島 のいずれかの県に居住していた学生であり(震 災後、他の都道府県に転校した生徒も対象)、 2015年3月までに高等学校またはそれに準ず る学校を卒業し、2015年4月～2016年3月に 新たに大学・短大・各種学校に進学予定の者(震 災による被災度合いがより高い者は優先的に 配慮)および、東北未来フェローズプログラム 2013、2014参加者。	1次選考:書類審査 (課題作文及び学 校長の推薦状) 2次選考:面接審査 (グループディス カッション)	17名	一律月額10万円。		
高校留学プログラム		東日本大震災(2011年3月11日)の時点で、 岩手・宮城・福島のいずれかの県に居住してい た者(震災後、他の都道府県に転校した生徒も 対象)で、応募時に高等学校またはそれに準ず る学校に在籍、または卒業してから1年以上が 経過していない者。東日本大震災を乗り越え て、グローバルな視野を持ち国内外で活躍す るリーダーになることを志す者(震災による被 災度合いがより高い者は優先的に配慮)。	1次選考:書類審査 2次選考:電話面接 3次選考:面接審査	1名	ボーディングスク ール留学者:一時 準備金20万円、生 活費月額2万円、 授業料及び寮費免 除(留学先の規定 による)		

(フェローシップ事業)

事業名	対象者	選抜方法	参加者人数	内容	支出額 (東北)	支出額 (ジャパン)
ジャパン未来フェローズプログラム 2016	2016 年度に、大学・短大・専門学校に新たに進学予定の者及び 2016 年 4 月時点で、高等学校 2 年または 3 年に在籍している者。	1 次選考：書類審査 (課題作文) 2 次選考：面接審査 (グループディスカッション)	34 名 (東北：15 名 ジャパン：19 名)	2016 年 3 月から 2017 年 3 月までの 間の 4 回のモジュール (海外研修含む) の参加費を財団が負担する。	2, 313, 095	2, 686, 501 円

(リーダーシッププログラム事業)

	日時	開催場所	対象者	人数	内容	支出額 (東北)	支出額 (ジャパン)
夏季グローバル研修 米国サマープログラム 2015 ～村瀬二郎記念奨学事業～	2015 年 8 月	米国：ニューヨーク・ボストン	ビヨンドトゥモローの奨学金プログラムに参加している大学生及びこれまでにビヨンドトゥモローの活動に参加経験のある高校生	8 名	本プログラムでは、東北出身で、東日本大震災という困難を乗り越え、広く世界に活躍するリーダーとなる志を持つ学生 8 名がニューヨーク及びボストンを訪問し、米国の歴史や文化、社会について学んだ。また、ボストンやニューヨークで活躍するリーダーたちとの交流を通し、東北の今を米国の人々に伝えるアンバサダーとしての役割も果たすことができた。	6, 061, 242 円	0 円
夏季グローバル研修 アジアサマープログラム 2015	2015 年 8 月	フィリピン：マニラ・タクロバン・セブ	ビヨンドトゥモローの奨学金プログラムに参加している大学生および高校生	5 名	本プログラムは、日本・ネパール・フィリピンの若者が、フィリピンを訪れ、防災について考えることを目的として開催された。3 か国でそれぞれに自然災害を体験した若者が、2013 年 11 月の台風ヨランダが直撃したレイテ島の被災地域を訪問し、防災に関する現地のニーズについて考え、防災に関する施策について発信。また、参加者たちは、アジア地域における社会経済的な基盤の強化を含む、アジアの将来の防災における若者参画について提言を作成し、プログラム終盤にゲストの前で発表を行った。	1, 430, 834 円	0 円

東北未来リーダーズサミット 2015・ジャパン未来リーダーズサミット 2015	2015 年 11 月	東京	<p>1. 高校生（東北） 応募時点で、岩手・宮城・福島のいずれかの県の高 等学校またはそれに準ず る学校に在籍</p> <p>2. 高校生（ジャパン） 応募時点で、岩手・宮城・ 福島以外の県の高 等学校またはそれに準ずる学校 に在籍</p> <p>3. 大学生 ビヨンドトゥモローの奨 学金プログラムに参加す る大学生及び高校生の時 にビヨンドトゥモローの 活動に参加した経験を持 つ大学生</p>	<p>1. 29 名</p> <p>2. 43 名</p> <p>3. 33 名</p>	<p>東日本大震災により困難な状況を経験しながらも、社会のために役に立つ人材となることを志す、東北被災地出身の未来のリーダー候補となる大学生・高校生を対象とした「東北未来リーダーズサミット 2015」及び、日本全国から、それぞれの故郷における課題解決に関心を持ち、将来、自分の故郷の未来を担う人材となることを志す大学生・高校生を対象とした「ジャパン未来リーダーズサミット 2015」を同時開催。「体験共有」「専門家インタビュー」「ディスカッション」「提言作成」など様々なモジュールを通じて、幅広い領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、2020 年に実現したい日本の姿について提言をまとめ、最終日の閉会式で発表した。閉会式には、竹中平蔵慶應義塾大学教授にゲストとして出席いただいた。</p>	6,501,195 円	6,682,721 円
メモリアルディナー2016	2016 年 3 月	東京	ビヨンドトゥモロー大学 スカラーシッププログラ ムに参加した者及びビヨ ンドトゥモロージャパン 未来フェローズプログラ ム 2016 に参加する学生	44 名	<p>東日本大震災を機に設立されたビヨンドトゥモローが日本全国を対象とした活動に移行することを正式発表し、また、大学スカラーシッププログラム参加者のプログラム修了に際する門出を祝う場として開催。ビヨンドトゥモロー設立当初より共に事業を創ってきた大学スカラーシッププログラム参加者の学生たちが、新たにビヨンドトゥモローを創っていくジャパン未来フェローズプログラム参加者にエールを贈る場もなった。竹中平蔵様（慶應義塾大学教授）、羽生善治様（将棋棋士）、デーブスペクター様（放送プロデューサー）などにゲストとして出席いただいた。</p>	3,287,849 円	0 円

ビヨンドトゥモロースプリングプログラム 2016	2016 年 3 月	東京	ビヨンドトゥモロージャパン未来フェローズプログラム 2016 に参加する学生及びこれまでにビヨンドトゥモローの奨学金プログラムに参加した学生	34 名	ジャパン未来フェローズプログラム参加者が一同に介し、ビヨンドトゥモロー参加者としてのミッションを考え、将来のビジョンを描き、これからの学生生活において何を達成すべきかを具体化。ディスカッションや各種アクティビティを行い、今後 1 年間を通して自分が取り組むべき「プロジェクト」の計画を策定し、発表した。また、最終日には屋外キャンプを開催し、これまでにビヨンドトゥモローの奨学金プログラムに参加した学生たちも参加し、過去の参加学生とこれからの参加学生が、共にビヨンドトゥモローという場のあり方について考える機会を提供した。	1,165,020 円	1,306,155 円
--------------------------	---------------	----	--	------	--	-------------	-------------

以上